東京東村山ロータリークラブ





国際ロータリーテーマ

ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を





Vol.47 第2301回例会

2014.3.13

今年度会長テーマ

話と和で輪を広げ ロータリーをもっと身近に

■司会: 山本例会運営委員長



■点鐘:野村会長

■合唱:ロータリーソング 「我等の生業」

◆ソングリーダー:
飯田会員



するボーイさんもテーブルに辿り着くまで、大変な 思いをして飲み物・食べ物を届けていました。職業 柄どうしても宴会場のサービスに対して、注意深く 見ているため今晩は、まともな食事は出来ないだろ うと諦めていました。でも、1つだけ休憩時間のコー ヒーブレイクは、コーヒーカップが足らなくなった のとコーヒー自体も間に合わなくなり、一時騒然と した雰囲気に包まれましたが、そこは、ロータリア ンとしての自制心を働かせ、何事も無かったかの様 に終了したのは、流石だなあと深く感じました。印 象的だったのは、次年度RI会長のゲーリー・C·K·Huang さんの2014-15年度のテーマを発表し、説明をされた ことです。「Light Up Rotary」というテーマを出され ました。孔子の言葉だそうです。「暗さを呪うより、 蝋燭に火を灯した方がいい」を引用しています。説明 し始めると10分位必要になりますので、簡単に言い ますと、「120万人のロータリアンが1つずつ蝋燭を灯 せば世の中は明るくなる」前向きに皆で力を合わせて Light Up Rotaryをして下さいとの事。

■会長報告

野村会長

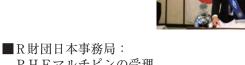


石山幹事



第4回日台親善会議に出席して

1月26日(日)開催の日台親善会議に出席してきました。場所は台北円山大飯店12階大講堂で、日本人410名、地元参加人員350名の計760名という大親善会議となりました。予想以上に日本からの参加者が、増えたため通常10人掛けの円テーブルに12人座り、隣りや後ろの席とは30cmも無く、椅子を引いたらすぐにぶつかるような状況でした。従って、サービスを



- ■R 財団日本事務局: P H Fマルチピンの受理 町田清二会員 P H Fマルチ2回目
- ■インターアクト委員会: 第4回地区インターアクト委員会及び顧問教師会総会開催の案内の受理 2014年4月19日(土) 15:00~ 於 日本大学第一高等学校
- ■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30
- ■例会場/八坂神社 社務所 〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1
- ■クラブ管理委員会/田中 重義
- ■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166 ■青少年交換委員会:

青少年交換派遣学生募集について資料の受理

- ·募集要項·志願書等→事務所保管
- ・ポスター→例会上に掲示します
- ■東海大学菅生高等学校:

2014年度東海大学菅生高等学校・高等学校中等部 入学式の案内について 2014年4月8日(火) 10:00~

於 菅生高等学校体育館

■東村山市社会福祉協議会: 平成26年度「社協大会」の案内について 2014年4月19日(土) 13:30~ 於 中央公民館

■例会変更:

東京ベイRC 4月17日(木)→15日(火)移動例会

- ■回覧:
- ・2580地区ローターアクト1・2月活動報告
- ·東京小平RC週報
- ・心の東京革命
- ・「やまだの作文」

■表彰

■町田清二会員 PHFマルチ2回目



■出席報告

中條例会運営委員



在籍会員数	出 席	免 除	欠 席	出席率
30	17	0	7	75.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席:3名

- ■前々回出席率メークアップ修正後:89.29%
- ■前々会メークアップ者:

赤木会員:理事会中條会員:理事会

■ニコニコBOX

中丸パスト会長



◆野村会長、石山幹事:

野澤会員、卓話よろしくお願い致します。 あいにくの雨ですが、気分は晴れで例会 を盛り上げて行きましょう。野澤会員、 夜間の勉強会もあり本日は大忙しでご苦 労様です。

本日のニコニコ合計: 5,000円 累 計 :1.075.324円

■委員長報告

■村越プログラム委員長



前回6日に加藤商事の若社長に卓話をいただきましたが、加藤商事の会長が帰りに卓話をいただいたからということで1万円ロータリーに寄付をいただきまして、米山奨学金の方にまわさせていただきました。

また、27日の予定ですが、たましんの本部から講師の先生をお招きして、消費増税後の見通し等のお話をしていただくとなっています。

4月10日ですが、たまには音楽などと思いまして、ヴィオリラの演奏を聞いていただきたいと思います。これは大正琴をバイオリンの弓で弾く、YAMAHAしかやっていないもので、楽しい演奏を聞いていただけると思います。

4月17日はロータリーの雑誌月間ということで中丸 さんか小町さんにお話をしていただく予定となって います。

4月24日は相羽さんからの推薦で「物の捨て方残し方」と題して、皆さんそういった年代にきていますので、そのような卓話をしていただこうと思っております。

それから5月には目時さんに、10年ぐらい前の女性と現在の働いてらっしゃる女性についての違いについてお話いただきたいと思っております。これは目時さんの会社で大勢面接でお見えになったということを基に、今働く女性はどんな感覚でやっているのか等についてお話をいただくことになっております。

以上プログラム委員会からのご報告です。

東京東村山ロータリークラブ

■小町会員研修委員長



本日午後6時より、むさしの幼稚園にて勉強会を開催します。現在のところ12名の参加となっています。 まだまだ間に合いますので、多くの方の参加をお願いします。

■卓話

■卓話者紹介: 村越プログラム委員長



■卓話者:野澤会員



ロータリー初期における親睦と奉仕の概念 ~小堀憲助氏の講演を参考~

初期ロータリーのシカゴクラブにあっては、真面目 人間が集まってクラブ活動をしておりましたので、そ れゆえに議論もいろいろ現れてくるようでした。「自分 たちは儲けるためにクラブ活動をやっている。そして 確かに儲かるな。助け合いをするのは悪いことではない、 だけどなんで一業一会員制をもって会員を制限してい るのだろう。一人が入ったら、他の同業者は入れない、 そこで、たまたまロータリーに入れないばかりに、そ の職業人は社会の荒波の中に置かれる、これは間尺(わ りに)合わない。」 こういう考え方の中から、初期一業 一会員制に対して反発が起こってきました。しかし、 ロータリーは一業一会員制を否定するわけにはいかない。 なぜならば、それあればこそ純度の高い親睦が実現さ れる。つまり我々は気分が開放的になる。そしてこの ことはあくまでロータリーの原点だ。なんでも話がで きる、同業者の批判でも、・・初期の文献に出ている そうです・・また自分の業界の悪口でさえも自由に言 えるのは、同業者がいないからではないか、これこそ ロータリーの財産であるがゆえに、そういうものは大 事にしておこう、とその時、「我等のエネルギーを世の ため人のために放流しよう」という運動が起こりました。 この最初のきっかけとなる事件が起こったのは、1907 年以前です。その後1908年にシェルドンがシカゴクラ ブに入会しまして、「我等少数の一業一会員制をもって、 選ばれた職業人の親睦のエネルギーを、世のため人の ために放流しよう」という考え方を、思想の世界の中で

昇華させることに成功し、ここに正にロータリークラ ブの社会制度としての独自性が宿るという点を謳歌す るまでに至りました。これも初期ロータリー史上の重 要な原点的事実ですが、ここに至るまでにはロータリ ーの始祖ポール・ハリス自身が大きな思考上の試練を 経てきたのです。その時ポール・ハリスはこのように 考えたのです。ロータリーは1905年に始まり、その時 のロータリーの基本財産は親睦でした。助け合うこと です。物質的にも、精神的にも助け合う。これが親睦 の内容です。この親睦を作り出す三つの原則は、お互 いの利益の交換、相互扶助そして知恵の恩恵でした。 一方で彼は、今や正にロータリーは世のため人のために、 という新しい指導理念を確立し、会員に普及したのです。 もともと1907年までは奉仕なんて言葉はありませんで した。奉仕という概念が生まれたのは、1908年、シェ ルドンが入会したのがきっかけで、この名付け親はシ ェルドンであります。しかし、ポール・ハリスはこの 新指導理念を頭の中に入れ、それを親睦の上に乗っけ たのです。「ロータリーは親睦の上に乗っかった奉仕だ」 実はこの表現を最初に行なったのは、私(小堀憲助)な んですが、この表現は原理的には間違っています。し かし、この間違った考え方で行動するロータリアンは 何人かおります。しかもその中には、極めて優れたロ ータリーの指導者がいることもまた確かなのです。そ してその第一人者は1907年から1908年頃にかけての、 ポール・ハリスに見出すのです。

日本のロータリーにもこの考え方で一生を通した人がおります。日本のロータリーの創設者、米山梅吉さんです。彼は「ロータリーの真髄は奉仕だ、そしてつをです。彼は「ロータリーの真髄は奉仕だ、そしてつの概念が調和できる時はいいですが、調和出来ない事態が起こった時は、親睦が我慢して奉仕を活かそう、親睦を殺して奉仕を生かすべきだ、このような考えになるのです。ロータリーは世のため、人のため、これは親睦とうまくいくうちはいいが、うまくいかないときは親睦が我慢をしろ、このような考えのロータリアンは意外と多いのです。

ここで米山さんについての逸話をお話します。米山 さんは実践活動をしております。今日の貨幣に換算す ると、数億円の年収がありました。三井財閥の大番頭 ですから、今の役員の所得とはわけの違う時代に生き ておられましたから、しかしその数億円を手に入れて、 億万長者だ、などと思っては間違いです。その証拠に 当時の大正10年代の億万長者の名簿に、米山梅吉なる 名前は出ていないのです。米山さんはお金が入れば右 から左に、と弱者救済の為に使ったといわれます。米 山梅吉記念館を見学したものなら一目瞭然です。米山 さんはロータリーの奉仕の神聖さを信ずるがゆえに、 躊躇することなく、自分のところに入ってきたお金を ポンと出す。彼は湯水のごとく様々な分野の弱者救済 に使う、彼は自分を育ててくれた社会に対する報恩だ として、ごく当たり前のことをやったのだから、それ を誰にも言わない。このような話が伝わっています。 東大の法学部に在学中の学生が、親が亡くなって、学 費が払えなくなってしまった話をある人から聞きました、 すると彼は「私から金が出ているということを、絶対言 ってはならない、ある篤志家だ、とだけ伝えて下さい。」 そして「いくらあったら卒業できますか」と聞きました、 するとその中に立った人は「大体この位でしょう」とい うと、米山さんは「それは最低でしょう、それに2をか けることにしましょう」ということで、きちんきちんと 倍額のお金を届ける。そしてある時ロータリーの国際 大会に出席するために三ヶ月間・・当時は船で行きま したから・・アメリカに行かなくてはならないので、

行く前に三か月分を払いましょう、といって三か月分を前払いするのです。また、東南アジアの留学生が身寄りもなくて可愛そうだ、何とか面倒を見よう、これが今日の財団法人米山奨学会になったのです。

また米山さんは自身の善行を誰にも言わないし、そのようなことを気取られるような行動はしないし、自慢たらしいことも一切言わない。あまりにも気の毒だと、事情を知った人が、「米山さんという方は隠れた善行の持ち主で、こんなこともあった、ああいうこともあった」としゃべったら、米山さんがそれを聞いて、「そんなことは言わんでくれ」と言われるのでなお「奥ゆかしいとだ」と思い、その話しをやめなかったところ「君、たんだぞ、・・中略・・」と怒った、という有名な話があります。このようなやり方だから、米山さんという人は、その善行のわりには、敵をロータリーの中に作りました。これが東京ロータリークラブの中で、米山的なものを出来るだけ無くしてしまえ、なんて動きがひと頃あったようでした。

一方1907年時点におけるポール・ハリスも、それと同じ考え方に立って、しかもこの考え方を、ロータリー運動の新指導理念として、シカゴクラブの中で、一般会員に押し付けようとしたのであります。ポール・ハリスが犯した過ちは、ロータリーの新理念として、親睦の上に奉仕が乗っかっている、という考え方をとり、第三代目のシカゴクラブの会長として、大変いいこともしたけれど、悪いこともした、・・この言い方は気の毒でありますが・・親睦を害するようなこともあったのです。ポール・ハリスは、我々の活動は世のため、人のためであって、我々の利益を求めるためにロータリーがあるのではない、と考えました。

1906年、シカゴクラブは創立2年目にして早危機が訪れるのです。それはロータリー運動の新指導理念として、奉仕の概念が入ってきたことであります。シカゴクラブは創立以来、お互いの利益の交換と親睦を主に活動してきたものを、奉仕に力点が置かれるようになると、親睦が壊れてくる、ポール・ハリスが会長となり、同時に奉仕派の総大将でありましたので、奉仕派の活動はさらに拍車がかかったのです。このため会員の多数から批判と反感が沸騰したのです。

この頃ポールの考え方の欠点を是正しようとする動きも出て、ある方法を打ち出したものがおりました。ロータリーにとって親睦とは原点の一つであります、従って譲ることのできない絶対価値だ、「親睦というのは心を通わせることだ」、そして心を通わせる最も良い方法は、「童心の回復だ」、「そのために歌を歌おうじゃないか」、とこれを提唱したののがハリー・ラグルスであります。これが1907年のこととあります。

いずれにしてもラグルスは「童心に帰ろう」、ということで歌わせしめたわけですが、当時はもちろんのこと、ロータリーソングなどはありませんでした、日本流にいえば、動揺の「春の小川はさらさら行くよ」とか「どんぐりころころどんぶりこ」なのでありました。

この様にしてハリーの行為はシカゴクラブに友愛心を取り戻させ、会員は再びクラブ活動に専念するようになったのです。この実直さがロータリーの親睦の伝統を築いた、と後の書には記されています。この功績によって1908年にポール・ハリスが健康を害して二度目の会長を途中で辞任しますが、その後任としてハリーが選ばれ、その翌年も会長に選任されました。これはシカゴクラブでの最長期間会長を勤めた、という記録があります。

日本でも昭和11年にロータリーソングが歌われ始めましたが、このことに触れると、また多くの物語がありますので、別の機会に譲りたいと思います。

1910年、ポール・ハリスは自身の過去の反省も含め、「ナショナル・ロータリアニズム」という論文を書きました。これは簡略しますと、「ロータリーという思想はどういう思想なのか、この思想としてのロータリーを守るために存在する、社会制度としてのロータリーとは何なのか」、とを論じ、ときあたかも1908年に入会したシェルドンによって、奉仕の哲学が創案され、1911年の第2回国際大会において、独自に創案した「奉仕の哲学」を発表しました。このとき生まれたのがHe profits most who serves best. いわゆる、「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」であります。これを契機に、シカゴクラブはもとより、全米ロータリークラブに奉仕の概念が急速に確立普及していくのであります。

次にシェルドンは職業奉仕論を唱え、10年後の1921年のエジンバラの国際大会で再度演説をしました。この内容は略しますが、企業経営を自然科学の分野より考察する、という内容でした。この演説で、多くの企業家たちより大反響が起こりましたが、ロータリアンとしては、今まで世のため人のために標榜する、社会奉仕を主に活動してきた会員との間に、大きな摩擦と対立が生じ、一時はあわやロータリーの崩壊か、という危機にさらされたものでした。これを救ったのがロータリー活動を完璧にまとめ上げた決議23-34号であります。・・略します・・

結論として要約しますと、この第一項に、ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという、感情のあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕・・「超我の奉仕」の哲学であり、これは「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」とうい実践的な倫理原則に基づくものである。としています。

ロータリーにあっては、この時代より親睦と奉仕という概念は、ロータリー哲学として芽吹き始めたものであり、その後数十年後に職業奉仕なるものも創案され、ロータリーの倫理道徳活動が発展していくのであります。この論文が世に問われるようになったのは、翌年の1911年1月のことです。これを記念してロータリーの雑誌週間が制定されました。

その後この論文は「ザ・ロータリアン」と改められ、ロータリーの公式な機関誌となりました。そしてこの中でポール・ハリスは初めて、ロータリーは親睦と奉仕を等価値の概念として考え、親睦と奉仕を調和させる世界の中に、ロータリーがあるべきもの、と考えたのであります。そして彼は一生涯ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る、と言いながら生涯をとじたのであります。

ロータリー運動は、厳しい社会背景のもと、幾多の議論や対立を重ね、発展してきたわけですが、ロータリー創始者であるポール・ハリスと東京ロータリークラブ創立者の米山梅吉さんは、時を同じくした時代に生き、その性格こそ異にするも、ロータリーとは「社会に奉仕することである」、このことを信条とし、奉仕活動に生涯をささげた人であります。この二人の功績は、近代を迎えた今でも、脈々と流れるロータリー理念の中に息づいているものであります。

ただしこの二人は、奉仕の性格を異するも、とは、ポール・ハリスの親睦と奉仕の概念を、米山さんはこれを是としなかった、あくまで奉仕第一、自己第二の考え方でありました。従ってポール・ハリスの唱えた奉仕は、精神的、思想的奉仕であるのに対し、米山さんは、恵まれた財力をもって、弱者救済という物質的、金銭的奉仕であったと言えましょう。

この様に、初期のロータリーにあっては、あくまで 親睦が主でありましたが、即座に奉仕の概念が取り入 れられ、親睦と奉仕となりました。次にシェルドンに よる職業奉仕の概念が取り入れられました。この二つ はロータリーの共通の哲学であります。親睦と職業は、 ロータリアン自身の内なる力の結集であります。一方 奉仕とは、世のため人のために、という対社会、外へ の力の放流です。この相反する力を生み出す心がロー タリーです。そしてあくまで第一が親睦と奉仕、次が 職業奉仕なのです。この順序を間違えると、それはロ ータリーでは無くなるのであります。

■野村会長



野澤会員の卓話が10分早く始まったので、閉会までに10分余ったので、下記内容を朗読しました。解りやすい良い文章なので是非掲載して下さい。

皆さんは孔子のことを多少知っていらっしゃるとか と思います。孔子は最初のロータリアンであったと思 います。勿論ロータリーが出来る2500年も前に亡くな っているのですが、孔子の考え方はロータリーに近い ものがあります。「暗さを呪うより、蝋燭に火を灯した 方がいい」この言葉はロータリーの考え方をよく表して います。世の中には尽きぬ問題があり、助けを必要と する人が数多く居ます。しかし、多くの人は「私には何 も出来ることが無い」と言い、黙視します。暗闇の中に いるのと同じです。ロータリアンは違います。ロータ リアンは孔子の考え方を実践し、一つ一つ蝋燭に火を 灯します。120万人のロータリアンが一つずつ蝋燭を灯 せば、世の中は明るくなります。そう、これこそ私が 皆さんにやってもらいたい事です。みんなの力を合わ せてLight Up Rotaryして欲しいのです。これが2014-15年度のテーマです。そして、挑戦でもあります。ど のようにLight Up Rotaryしていくのか、どのようにし て蝋燭に火を灯すのか、それは皆さんにお任せします。 皆さんの力を旨く使って地域社会の役に立って下さい。

Light Up Rotaryの方法は幾つもあります。ロータリーデーを開催し、地域にロータリーとは何か、ロータリーは何をしているのかを示すのも一つの方法です。ローターアクトやインターアクトも一緒に参加してもらい、若い世代に「いずれはロータリアンになる」という気持ちを持って貰いたいです。Light Up Rotaryのもう一つのやり方は私たちが4半世紀も続けてきたポリオ撲滅を達成する事です。重要かつ大きな目標ですね。

現在の予定で行きますと2018年にはポリオ撲滅が達成できます。そして、目標に向かって努力を続ければ2014-15年度には野生のポリオウィルスが消えている事でしょう。これは人類にとって素晴らしい事です。ここで手を抜いてはいけません。一緒にこの戦いを戦い抜きましょう。そのためには資金も必要になります。ポリオ撲滅が出来ればロータリーは偉大なことを成く遂げることのできる組織であることを広く証明出来ます。子供達への素晴らしい遺産です。そして次の大きなチャレンジに向かっていく事が出来るでしょう。2014-15年度に野生のポリオウィルスを消滅させるのは私達の責任です。私はロータリーがより明るく、はっきりと

輝く組織になってもらいたいと考えています。私達の 光を暖かく心地の良いものにして周囲の方々が参加し たくなる組織にしたいです。私達の光がみんなのイン スピレーションとなり、団結することで大きな事を成 し遂げる事が出来るのだとわかってもらいたいです。 Light Up Rotaryは2014-15年度のテーマですがそれだ けに止まりません。ロータリアンとしての生活・考え方・ 感じ方・実践の仕方をも指します。日々クラブで、地 区で、国で、奉仕を通して世の中を変える方法論です。 Light Up Rotaryを実践するのは私達です。是非光輝か せて下さい。私達ロータリアンは世の中を良くしたい という気持ちがあり、能力もあり、そして実践してい る人達です。暗闇の中に一人で座っているより、私達 210万人のロータリアンと一緒に、さあLight Up Rotary しましょう。これが私達のやるべき事、挑戦すべき事 です。この新しい年度にロータリーの光をより強く、 美しく輝かせましょう。

■閉会点鐘:野村会長

■26年2月出席表

	氏 名	6	13	19	27				
名	細渕 一男	<u> </u>	10	10	0				
1	相羽 正		0		0		100		
2	赤木 盛一	0		0	Δ		75		
3	飯田 能士	0	0	Δ			75		
4	石山 敬	0	0	0	0		100		
5	樺澤 襄	0	0	0	0		100		
6	金子 哲男	0	0	\triangle	0		100		
7	北久保隆一	0	0	0	0		100		
8	小町 幸生	0	0	0	0		100		
9	村田 秀雄	0			0		50		
10	中條 基成	0	\triangle	\triangle	\triangle		100		
11	中丸 繁男	0	0	0	0		100		
12	野村 高章	0	0	0	0		100		
13	野村 裕夫		0	0	0		75		
14	野崎 一重	0	0	0	0		100		
15	野澤 秀夫	0	0	0	0		100		
16	荻野 昇			0	0		50		
17	嶋田 憲三	\triangle	0	0	0		100		
18	清水 啓量	0		0			50		
19	田中 重義	\triangle	0	0	0		100		
20	當麻 誠	\triangle	0	0	0		100		
21	戸澤 忠	\triangle	0	0	0		100		
22	漆原 次男	\triangle					25		
23	山宮 隆								
24	山本 智治	0	\triangle	0	0		100		
25	西河 博史				入会式		100		
	公式平均		80.77	96.00	89.29		89.59		
出席規定適用免除者									
1	隅屋 宜一	0	0		0				
2	五十嵐光利								
3	神﨑 武								
4	村越 政光	0	0		0				
5	町田 清二	0	0	0	0		100		
6	目時 俊一			0	0				
名:名誉会員 ○:出席 △:メークアップ									

名:名誉会員 ○:出席 △:メークアップ